

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	SOU NEXT パーク志真志		公表日 令和 7年 5月 14日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		部屋数は少なめなので、人数が多い日は工夫して使い分けている。	少し狭いため、ケガにつながるよう今以上に環境設定は工夫していきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		専門的支援体制加算も取得していて手厚い職員数で支援が提供できている。 ◎個別対応が必要な児童にはマンツーマンで支援を行える人員配置となっている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		プレイルームと静養室を使い分け、児童の気持ちの切り替えができるよう配慮している。	・部屋ごとの役割を児童にも伝わるように視覚化し明確にしていきたい。 ・各部屋の差別化はできているが、完全個室がないため音に敏感な児童が落ち着く環境設定を検討したい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		時間を設け毎朝職員で清掃を行っている。児童帰宅前は清掃時間も設けており、こどもたちで掃除に取り組むこともできている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		静養室があるので、楽しく過ごすプレイルームとクールダウンできる部屋で必要に応じて使い分けることができている。	◎新規入所児童にも伝わるように部屋ごとの役割を視覚化し伝わりやすいように工夫したい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	朝礼の際に課題内容や考えられるリスクなどを共有し次の日の朝礼で前回の課題の改善点や良かった点などを共有している。	△リーダーを中心に目標と振り返りを行っていているが全職員が同じモチベーションで参画できているかはまいちどころ。もう少し具体的に目標設定を打ち出して方向性を定めていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	OPEN仕立てで今年度初めての評価、評価後は話し合う機会を設け業務改善に繋げていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日の朝礼で意見を共有する機会を設けておりその都度業務改善に繋げております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		外部評価は行ってないが、ほかの事業所の取り組みを参考にしたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		新入社員研修も充実している。毎週の全体ミーティングでは定期的に勉強会のような取り組みが開催されている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		児発管が計画書を作成する上でこまめに職員間で中間評価を行い、アセスメントを取ることができているので滞りなく計画書の作成ができている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		定期的に行う中間評価と、計画作成時には個別支援会議も開催できている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		上記と同様計画作成時には職員間で個別支援会議を行っているため、内容も共有済み。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		定期的な中間評価は行っているが、それ以外で標準化されたフォーマットがないので作成していきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		計画書に各項目で分けて、具体的に支援内容が設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		基本的に担当が課題プログラムの立案をするが朝礼等を活用し職員間で話し合い、質を高められるよう工夫をしている。	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		前月に職員間で話し合いながら課題設定をしていくので、様々な角度から療育が行えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		児童のそれぞれのレベルに応じて、個別課題と集団活動に分けて行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼にて送迎や児童の引継ぎ・共有などを具体的に言い、その日の目標なども話し合い支援に入るようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	密に振り返りを行うのは翌日の朝礼となっているが会議室で記録を記入しながらその日の出来事の話もできている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		大事なことはその都度全員が確認できるようにチャットにのせて共有している。児童の様子や課題点はHUGを活用し、毎日記録を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		児発管が中間評価も行い、計画書の見直しはできている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		地域の施設を活用し地域交流を図ったり、課題に季節の製作活動を取り入れるようにしている。	地域移行の面で、活用できそうな地域資源を模索し今よりも連携を図っていきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		児童のやってみたいことを課題に取り入れれたり子ども達の思いを大切に耳を傾けている。	選択制の課題も検討してみたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		基本的に児発管が参加しているが、すべての職員の声が拾えるよう定期的に中間評価を行い、意見をまとめて会議には出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		連絡会にも児発管が参加し、連携を図っている。担当者会議は学校との連携も図りたいので、相談員さんに依頼して学校で行っていただくようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		スクリレというアプリを通して、予定変更などを随時確認できるようになっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	会議を設定し、児発管が引継ぎを行っている。	こちら側から依頼しないと設定されない場合もあるので積極的にやっていけるようにしていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			1～3年生のみの受け入れ→対象児童なし必要に応じて行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	連絡会には児発管が参加している	児童発達支援センター主催の研修には積極的に参加するようにしている。連携という点ではまだできていないと感じるので改善していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		地域移行も兼ねて、地域に根付いた児童館や公園を活用したりして積極的に交流を図っている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		自立支援協議会等について情報収集を行ってほしい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎の際に必ず児童の状況などを伝えて、課題も明確にし、家庭でも取り組みを行ってもらうよう家族支援も行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	役所からの研修のお知らせ等は、保護者様へ情報提供を行うようにしている。	①会社側からの研修の開催 ②研修の情報収集を今より積極的に行い情報提供を行っていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約の際に細かく説明するようにしている。	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者様へ連絡し、計画更新の際はモニタリングを設定し、家族の意向を確認する機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		計画作成時は計画を説明しながら保護者様へ直接同意(サイン)を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	保護者様への児童引き渡し時に児童の家庭での様子を聞き、その後職員間で情報共有～改善案を出し保護者様へ必ず助言を行うようにしている。	質の高い助言が行っていただけるように、研修や講習を受講し、知識をもっと増やしていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	夏祭りや会社全体のイベントを開催し、保護者様にも参加してもらい交流する機会を設けています。	保護者会の機会がまだ少ないので事業所で企画し、開催頻度を上げていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		相談や申し入れがあれば、その都度すぐに話し合いを設け、迅速に対応できるよう務めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		毎日のインスタ更新、毎月のニュースなどで子ども達の様子を見てもらえるようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		SNSに写真を掲載する際には、保護者様からの同意を得て行っております。個人情報書類は鍵付きの書庫にて保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		言葉での意思疎通ができない児童に対して、イラストカードを活用して意思疎通がとれるように配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		地域移行も兼ねて、こちら側から夏祭り等開催して招待していくことは企画～実行できたらと思う。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		委員会を設立し、研修を行っている。 年2回事業所でも避難訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年に2回避難訓練を行い、振り返りもやっている。 BCPは作成し職員と読み合わせを行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		保護者様に事前情報は契約時に記載していただいている。てんかん持ちの児童も在籍しており、医師の指示書なども常にカバンや個人ファイルに入れて貰っている。また救急車対応なども明確にわかるよう視覚化している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	保護者様と対応について確実に確認をしている。 対象児童に関しては必要に応じて対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		課題設定時はリスク管理を十分に行い、安全に行えるよう意識している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		児童の特性等、気を付けてほしい面等はお互いに情報共有している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットがあれば、その都度職員間で共有し同じようなことがないように話し合いを設けている。	話し合いはできているが、記録で残せていないケースも多いのでしっかり記録していきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止・身体拘束委員会で虐待防止研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		保護者様には契約時に説明し同意をもらっている。 現在対象児童がいないので計画書への記載は行っていない。必要に応じて行っていく。		